

意見広告

新型コロナウイルス感染収束へ 県民の団結でのりこえましょう

いま優先すべきは国民のいのち。玉城デニー知事は627億円のコロナ対策補正予算を確保しました。安倍政権はアベノマスクや返済不要の大企業支援……これで国民のいのちが守れるでしょうか。

- 自粛と補償はセットで。外出自粛による生活支援の継続を
- 休業補償・給与補償の手続きを簡略化し、早急に支給を
- 大学の学費減免をすみやかに。家賃補償で住む場所確保を

医療現場のひっ迫は、自民党政権による病院・保健所の統合など医療の切り捨てが原因です。しかもコロナ禍のなかでも病院のベッド数削減をねらっています。

- 安倍政権は医療政策を見直し財政支援を強化せよ
- 国はコロナ対応の医療・介護施設への特別支援を
医療従事者や介護職員に危険手当の支給を緊急に行え

戦後 75年

玉城県政の発展を！

不届にたたかう県民と共に歩む
平和で誇りある豊かな沖縄へ

辺野古新基地ストップ 普天間基地の即時閉鎖撤去を

玉城知事の訪米やホワイトハウスへの電子署名運動など、辺野古新基地中止に世界が注目しています。大浦湾はホープスポット(希望の海)に認定されました。豊かな自然と新基地は共存できません。防衛省は大浦湾最深部の軟弱地盤データを隠ぺい、埋立て強行で基地そのものの崩壊の危険性を専門家が指摘しています。

- 県のコロナ対策に支障をきたす設計変更申請はとり下げを
- 安倍政権は工事を中止し、玉城知事と話し合いを
- 新基地建設費(2兆5500億円・県試算)はコロナ対策費へ

新基地完成まで「最短で12年」に根拠はありません。その間にも普天間基地では墜落事故、部品落下が繰り返され、強い毒性の有機フッ素化合物PFOSを含む消防火消流出事故など被害は収まりません。

- 普天間基地は即時閉鎖・撤去せよ
- 政府は新基地計画撤回し、米國と協議をやり直せ

命どう宝

沖縄をふたたび戦場にさせない 平和憲法が生きる沖縄へ

「軍隊は住民を守らない」——これが沖縄戦の教訓です。先島への自衛隊基地建設は再び戦争の被害をもたらします。

- 戦争する国づくりは憲法違反。安倍政権は基地増強を中止せよ
- 外交問題の解決は、武力でなく話し合いで
- 米軍による事件・事故は基地があるがゆえ。日米地位協定の抜本改定を

故・翁長前知事の遺志を引き継ぎ「建白書」実現、「誇りある豊かな沖縄」をめざす玉城県政。オール沖縄の団結と発展で玉城県政をささえ、県経済の発展、こどもの貧困解消など、すべての世代のいのちとくらしを守ろう。

●安保廃棄・くらしと民主主義を守る沖縄県統一行動連絡会議(沖縄県統一連)

構成団体 沖縄県農工団体連合会、沖縄県平和委員会、沖縄県民主医療機関連合会、医療生協の会、沖縄県労働組合連合会、新日本婦人の会沖縄県本部、日本共産党沖縄県委員会

●安保破棄中央実行委員会

〒900-0012 那覇市2-20-7101 電話 098-988-8172 FAX 098-988-8173